

第40回文部科学大臣杯争奪日本学生ゴルフ王座決定戦並びに、第4回文部科学大臣杯争奪日本女子学生ゴルフ王座決定戦 『感染対策要項』

2021年10月27日

日本学生ゴルフ連盟

感染対策小委員会

加盟校、加盟員の皆さま

平素より本連盟の競技運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。特に感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

早速で恐縮ですが、表題の件につきまして、下記の通りお伝えさせていただきます。

目次

1、検査方法とそれに対する諸注意事項	2ページ
①唾液採取によるPCR検査の内容説明	
②検査方法の検査時における手順と注意事項 (重要)	
②-1) 検査キット送付先の指定と到着日	3ページ
②-2) 検体採取実施	3ページ
②-3) 検体送付	3ページ
②-4) 検査結果判明通知(陽性・陰性)について	4ページ
2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目	5ページ
①入場時の流れの説明と提出義務書類について	
*入場を許可されないケースについて説明	
②入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い	
3、その他の諸注意事項	6ページ
①試合中、体調に異変をきたした場合	
②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い	
③「体調管理チェックシート」の開始日	
4、重要特記事項	7ページ
①ロッカー並びに脱衣所利用について	
②ハウス、コース内での注意点	
③18時以降の飲食の許可について	
④ <u>競技2週間前の宿泊を伴う合宿・試合の届出申請について</u>	

1、検査方法とそれに対する諸注意事項

①唾液採取による PCR 検査の内容説明

今年度、唾液採取による PCR 検査を、東京のヘレネクリニック様のご協力により、実施させていただきます。 *精度の高い、医療機関直轄の PCR 検査となります。

また、今回、全国各地からの参加で、なおかつ変異株(デルタ株等)への脅威も鑑み、ワクチン2回目接種済みの方も PCR 検査を受けて頂きますことをご了承ください。

その検査方法は、全ての出場選手に対し、以下の形で行います。

検査キットが各校の指定された住所に届き、その中にある所定の容器に、当該選手の唾液を採取し、それを所定の検査機関に送り返す！という、迅速かつ簡素化された最新の検査方法で、検体が検査機関(午前必着)に届いたら、当日夕方～夜に判定が出ます。但し、偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

*検査費用に関しては、登録選手全員と主務1名(またはそれに準ずる者)のみが検査を受けて、1名当たり¥2000の費用負担となりますことをご承知おき下さい。

なお、自身の大学に附属病院などが存在し、比較的容易に競技4～5日前以内に PCR 検査が受けられる大学に関しては、予め(競技開始の2週間前までに)学連事務所までご連絡下さい。その際の検査費用は、立替えて頂き、後日精算とします。また、検査判定証明(陰性証明)は、競技開始の必ず4日前ないし5日前に学連事務所に提出すること(FAX可)。 *但し、本連盟からの負担援助額は税込2600円までとします。

指導者の方は(但し帯同は必ず各校2名まで)その分の費用負担はご本人負担とさせていただきます。本連盟が主導する今回の検査を受けても構いませんが、その費用は後日、本連盟よりご請求させていただきます。(ご負担金4600円)

勿論、指導者の方が、この検査方法ではなく、別の医療機関で検査を自費で受けても構いませんが、(但し、競技3日前以内)その際は、その判定証明(陰性証明)を、入場時にご提出を必ずお願い致します。

②検査方法の検査時における手順と注意事項

PCR 検査キット送付のやり方は、以下の2パターンがございます。

出場選手には、

ケース1、一つの大学から複数名出場の場合➡その大学が定めた検査キット荷受け者(代表者)1名の所に送付

ケース2、一つの大学から単独で出場の場合➡その選手の希望する送り先に送付

その代表者の主導、或は選手自身で、検査（唾液採取）を行い、採取後、速やかに所定の機関に返送するやり方となります。

②-1) 検査キット送付先の指定と到着日について

各大学の代表者（指導者か主将、主務、或いは、選手内の感染対策責任者）宛に人数分の「PCR 検査キット」が、下記の日が届きます。（運送事情で少し前に着くこともあり得ますが、ほぼ間違いなく下記の日が届きます）

・11月22日（月）までに到着（1~2日早く到着する場合がございます）

*その為、

ケース1の場合、検査キット荷受け者の氏名・お届け先住所・携帯電話番号そして、一緒に検査を受ける選手の氏名・携帯電話番号・生年月日

ケース2の場合、出場選手の氏名・お届け先住所・携帯電話番号・生年月日

を所定の「エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合も、その方の氏名・連絡先・生年月日をご記入下さい。

②-2) 検体採取実施について

各校代表者は検査キット到着後、速やかに下記の日にちに全員の検査を完了すること

・11月24日（水）遅くとも25日（木）午前中までに検査完了

*北海道、山口県、九州は、必ず11月24日の午前中までに検査完了すること

各校・各選手が定めた指定の場所にて、添付された検査マニュアルに従い、選手、関係者から唾液採取を行います。

その際の注意事項として、

- ・採取する場所が3密にならない所であること。
- ・採取する場所に向かう際に、密になるような移動を避けること。
- ・採取する際、密にならないよう「ソーシャルディスタンス」保持や換気を心がける。
- ・検体採取時間は、できる限り短時間（1時間以内）で一斉に済ませる。*やむを得ず、長きに渡る場合、検体の保存は、日陰の高温にならない場所に保管する。（冷蔵庫可・但し検体なので保管方法に注意すること）
- ・採取1時間前までに水以外の飲食は済ませ、手指消毒し必ず歯を磨いておくこと。
- ・採取時は水以外の飲食はNG→不純物が入る懸念があるため

②-3) 検体送付について

検査対象の全員が採取し終わったら、マニュアルに従い、採取した検体を所定のパッケージ（箱、もしくは袋・封筒の予定）に入れ、梱包したら、それを本連盟が指定する検査機関の住所に速やかに送ること。

*福山通運の送り状が事前に入っています。福山通運以外の運送会社では、基本的に返送できないケースが多いのでご注意ください。

その際の注意事項として、各校代表者もしくは各選手は、

下記の日までに必ず発送を完了すること *翌日午前必着で送ること (着払)

・11月25日(木) 発送

*北海道、山口県、九州地区は11月24日(水) 発送 *翌々日午前必着で送る

検査機関に26日(金) 午前中必着 *この日を絶対遵守して下さい

採取した検体を密封する際、「お名前」「携帯電話番号」が丁寧な文字で明記されているか? 今一度ご確認ください。

発送が完了した時点で、各校代表者または各選手は「発送が完了した」旨の報告を、学連の感染対策委員に必ずご一報下さい。(日本学連公式ラインを作成しますので、そちらを使ってご連絡下さい。実施規定にそのLINE番号を掲載させていただきます)

★検体発送を速やかに行って頂かないと、検査機関への到着が遅れ、判定結果も立ち遅れ、大きな混乱を生じます。この部分は特に留意して、迅速に発送を行って下さい。所定の時間に到着せず、判定できない選手は、残念ですが参加が認められません。

検査を司る代表者・各選手は、責任を持って、検査の円滑進行、期日厳守に努め、万全の態勢で臨んで頂くことを切にお願い致します。

発送先(既に伝票に印字されています) *「午前必着」となっているか要確認

〒107-0062 港区南青山5-9-15 OHMOTOビル3階

表参道ヘレネクリニック宛 TEL03-3400-2277 *水曜、日曜休診日

担当責任者: 総務部長 並木亜紀子さま TEL: 050-3700-7486

(問い合わせは、学連事務局まで 03-3263-4377)

②-4) 検査結果判明通知(陽性・陰性)について

もしも「陽性」判定が出た場合は、検査機関より本人へ連絡があるので、日本国の様式に基づき、検査機関の指示に従った行動をとって下さい。(検査機関から保健所にも連絡されます)

また、陽性判定者は、試合には出場できないので、陽性判定の結果を部の責任者(指導者・主将、主務)に必ず報告して下さい。

報告を受けて、責任者(指導者、主将、主務)は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「陽性者以外の所属大学選手の出場を認める」や、「所属大学選手全員、出場辞退」など、どういった場合でも大学当局からの回答を本連盟にお知らせ下さい。

*同じ所属大学から2名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大

学の所属選手は出場できません（但し、活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが正式に証明された場合、この限りではありません）

★陰性判定の場合は、11月26日（金）の夕方～夜に連絡

検査機関（ヘレネクリニック様）より、その旨を事前登録された各選手の携帯番号宛てにショートメールでお知らせが入ります。

前述の通り、検体が検査機関（午前必着）に届いた、その当日の夕方～夜に判定が出ます。但し、検体が午後着或は翌日午前着となった時や偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

判定結果に関しては、個人情報ゆえ、基本として本人への通知となりますが、安全管理面の見地から、本連盟のPCR検査執行責任者（理事 金井）だけに 全員の検査結果データが送られてきます。その旨をご承諾下さい。

2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提示・提出義務書類について

入場の際は、本連盟が定める所定の場所（わかりやすい場所に設置します）にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「**体調管理シート**」を必ず提出⇒**シートを提出できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。**

***指定練習日も提示を義務付けます。**

↓

2) シート提示・提出時の直後にサーモグラフィーによる「検温」を行います。

⇒その際、シートに記載の平均体温より1度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定「**平均体温より1度を超えて高い体温**」に抵触した者、又は**37.5度以上の者は入場できません。**

②入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→選手・責任者の方へのお願い
感染対策の大切なポイントとして、選手・責任者の方は以下の点を必ず遵守して下さい。

1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より1度を超えて高い場合）がある、或いは体調を崩していないか？！の確認チェック。

2) **上記に該当する選手・関係者はコース入りしない・させない。**

3) **「体調管理チェックシート」を忘れていないか？**

3、その他の諸注意事項

①試合中、体調に異変をきたした場合 *COVID-19、体調不良の症状含む

外傷など、理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかにその症状を含めて本連盟の運営事務局（大会本部）に申し出て下さい。その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車（119番）へ連絡しそこで適切な対応して貰う。*このケースが最もあり得る（ガイドライン『競技会場でのCOVID-19を疑う症状を発症した場合の対処マニュアル』参照）
- ・**体調的に「辛い」「苦しい」と感じたら、無理をせず、リタイアを申し出て下さい。**競技の成績も大切ですが、それよりも「健康」「命」の方が大切です。

***症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。その勇氣によって、クラスターを断ち切る対応が可能となりますし、何よりも大切な参加者の「命」「健康」を救う判断となります。**

②競技場内で、感染が発覚した場合について

ただ今、感染力の強いデルタ株を中心に首都圏の感染が広がっております。本連盟では、選手、関係者の皆さまの生命と安全を守る上で、

競技会場内にて、Covid - 19（通称：新型コロナウイルス感染症）の感染者が発見された場合、当該競技は中止といたします。

但し、

- ・感染者発見が、当日競技終了後の場合、その日の競技（ラウンド）は成立とする。
- ・翌日以降も競技が続く場合、安全管理上の理由で、その競技の続行はしない。

*但し、予選終了時（又は予選競技成立時）の後に感染者が発見された場合、少人数となる翌日のマッチプレーに関しては、競技継続の有無を審議・決定致します。

③ 試合終了後の自制的な生活遵守のお願い（ガイドライン P38 参照）

その日の試合が終了した後も、ガイドラインにならって、

感染対策の見地において、自制的な日常生活を過ごし、健全、健康な身体、体調管理を整えられるよう、宜しくお願い致します。

④「体調管理チェックシート」の開始日 *試合開始当日から 15 日前

- ・**出場選手は 11 月 15 日（月）から開始**

直近の競技において、「体調管理チェックシート」の記入漏れや いい加減な記入状況が散見されます。感染対策に協力して試合に臨むという基本姿勢とご自身の体調を適切に管理するという見地で、記入不備がないようくれぐれも宜しくお願い致します。

4、重要特記事項（今大会の特別措置など）

①ロッカー並びに脱衣所利用について

本競技に関しては、冷えた身体のままの状態を放置し、健康を害するリスクも考慮し、**ロッカー使用並びに脱衣所での着替えを認可します（任意）。**但しディスタンスをとり、マスク着用、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用が前提条件。*マイタオル持参が望ましい

また、ガイドラインでは原則禁止だが、豪雨や汗による全身が濡れた状態で、それを洗い流す為、希望する選手にはシャワー利用も今回は認可するが、前述同様、ディスタンスをとり、消毒の励行、私語厳禁、短時間利用（15分程度）の遵守をお願い致します。

*ロッカー、脱衣所、シャワーを使用しに行く為の導線に消毒液を設置しますので、使用開始時、そして終わった際にその消毒液で手指消毒を必ず励行して下さい。

「なにごとも、始めと終わりは手指消毒」は、感染対策に大いに役立ちます。

②ハウス、コース内での注意点

・レストランでの朝食・昼食利用も認めますが、黙飲食にて短時間（30分以内）で済ませ、速やかに席を立つこと。 *長居、長時間利用はご遠慮願います

・朝のスタート集合時や、練習グリーン上でもマスク着用で私語を慎んでください。

*インフルエンザや風邪も流行る時期なので、マスク着用をマストとします。

・アテスト会場に向かう際も、消毒とマスク着用をお願い致します。

***マスク未着用で複数回に渡って注意された選手は、参加選手登録を取消します**

・競技終了後は、運営委員の指示に従って下さい。（例；パター練習は30分以内など）

・「体調管理チェックシート」の忘れ、未提出は、理由の如何に問わず、入場できません。

（忘れ、未提出は、感染対策への意識が希薄と判断し、厳しく対応させていただきます）

③ 18時以降の飲食の許可について

ガイドラインでは、18時以降の飲食を伴う店舗での客としての利用・食事や会話など感染リスクとなる滞在を禁止しておりますが、文科杯会場である広島CC様の周辺環境や、プレー終了時刻の時間帯を鑑み、下記内容のローカルルールを特別に定めますので、必ずご一読熟知の程、宜しくお願い致します。

●上記の通り、ガイドラインでは網羅できない環境要件があり得る為、18時以降の客として飲食店舗の利用を条件付きで認めることとします。但し、以下の点を遵守して下さい。

1、食事をする際は、その店舗の感染対策がきちんと成されている店舗であること（換気、クリアボードでの仕切りがある、ソーシャルディスタンスを保つテーブルレイアウトであること等）。

*本来、食事をする際は、**最も安全なのは各自、各部屋で取ることです。**しかしながらやむを得ない状況となる場合、**必ず「黙飲食」とする。**

食事の際は、大量の飛沫が飛ぶことは、皆さんもご承知だと思います。飛んだマイクロ飛沫による感染例は周知のとおりです。

「黙飲食」がその感染確率を軽減できる手段として、上記条件を挙げさせて頂きました。

2, 食事に要する時間は 30~40 分を目安とし、食事を済ませたら速やかに宿舎に帰ること。

3, このローカルルールの許容時刻は 19 時 30 分までとし、以降の店舗滞在を禁止します。

④ 競技 2 週間前の宿泊を伴う合宿、試合の届出申請について

ガイドライン記載の通り、競技 2 週間前の宿泊を伴う合宿、試合参加には、事前の届出申請と許可を必要とします。その際、学連並みの感染対策（事前検査）を行うことが必須となります。

これは、

- ・現地でのクラスターを防止し、現場での混乱を防ぎ、健康を第一に考える。
- ・学連加盟校、加盟員は、検査で陰性を証明し、お世話になる宿泊先、コースに入ること
で最低限の「社会的責任」を果たすものとする。

という意図が含まれております。

その為、文科杯出場する選手は、同競技 2 週間前以内に

- 1, 予め計画されている合宿及び試合日程の提出 * 間際は受け付けられない場合もございます
- 2, その合宿及び試合の直前（1~2 日前）に PCR 又は抗原検査を行ない「陰性」で参加を義務付けることと致します。

★提出のフォーマット、やり方などは、既に学連ホームページに掲載しております。 * 不明点、質問点があれば事務局にお問い合わせ下さい

以上が、今大会の感染対策要項です。本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。しかしながら目まぐるしく変わる感染状況への対応等で、感染対策要項の内容が変わる場合もございます。その場合には、学連ホームページに記載しますので、必ずこまめなチェックをお願い致します。

選手の皆様には細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。